

## 働くことを通じて 中学生職場体験学習



園児と中学生

働くことを通じて地元の人とふれあい、働く喜びや苦勞、仕事の大切さを学び、将来の進路について積極的に考える姿勢を養うことを目的に、法勝寺中学校・南部中学校2年生の職場体験学習が7月3日から7日まで町内の事業所、店舗で行われました。

つくし保育園で保育士のサポートを行った男子生徒は、「子どもが好きだったから保育園を選んだ。子どもたちが元気で大変です。子どもに優しく接するのが大切だと思いました。」と話してくれました。

## 国を越えて 韓国ハンリム大学生ホームステイ

7月11日から21日までの11日間、韓国ハンリム大学日本学科の学生10人が、町内の10家庭にホームステイして日本文化を学び、保育園や学校での交流や地域のお祭りに参加するなどして交流しました。

7月16日には第26回全日本トライアスロン皆生大会のボランティアにも参加し、エイドステーションや沿道で選手に声援を送りました。



イミヨンさんと三鴨さん

## 本がうまい!! 第1回南部町読書まつり



地元の味

「食育」をテーマに7月8日、9日の2日間、南部町読書まつりが行われました。

8日は豆本作り教室とおはなし・ドンによる人形劇などの公演、9日は「食」をテーマにした本の展示、町の栄養士と農産物加工指導員による食育に関する講演、読み聞かせ、親子読書の事例発表、絵本作りのワークショップ、古本市のほか、地元産の食材を使ったうどん、豆腐、お菓子などの露店が開かれ、2日間で町内外から延べ270人の方が参加されました。

## 今年もにぎやかに 二町交流フェスティバル

7月1日とつとり花回廊で二町交流フェスティバルが行われ、大勢の人で賑わいました。小雨の降る中、グラウンドゴルフとウォークラリーが行われ、終了後のビンゴゲームでは数字が読み上げられるたびに大きな歓声があがりました。



難しいクイズでした

## まぼろしの「王道楽土」

祐生出会いの館

祐生出会いの館で7月5日から8月17日まで、まぼろしの王道楽土展が開催され、祐生が収集した満州国に関わるポスターや報道資料などの貴重な資料によって満州国の成立から崩壊までを垣間見ることができました。7月8日のギャラリートークでは、貴志俊彦島根県立大学教授が展示されている資料を参照しながら当時の政策宣伝などについて講演され、参加者は当時の体験談を話されました。町内から参加した女性は「知り合いからよく満州の話を知っていたので見に来てみた。とても興味深かったです」と話しておられました。



講演に聞き入る参加者

## じげの楽しみ

上阿賀・市山

7月14日、上阿賀で家内安全、延命息災を祈願して祇園祭が行われ、集落内の万灯に火が灯され、屋台や舞台、花火などで夜遅くまでにぎわいました。



上阿賀

7月22日、23日、市山公民館で作品展が行われ、小学生から高齢者まで多くの方の作品が展示されました。



市山

## スポーツと人生

生涯学習カレッジ教養講座



講演する小林さん

7月15日、さいはく公民館で行われた生涯学習カレッジ教養講座で、トリノオリンピックボブスレー日本代表の小林竜一さんが講演を行いました。

小林さんは小学校時代からのスポーツとのかかわり、オリンピックの裏話も披露され、「自分が納得できるまで努力することを、スポーツを通して学びました」と話し、平成22年開催のバンクーバーオリンピックへの出場を約束して講演を終えました。参加者は日頃なじみのないボブスレー競技について盛んに質問をしていました。

## 高齢者向け店舗新装開店

南部町にローソンモデル店舗

コンビニエンスストア大手ローソン南部会見店が高齢者向けのモデル店として7月21日新装開店しました。陳列棚の高さを下げ、生鮮食品を充実し、定期的に鮮魚を移動販売車が販売するなど高齢者向けの店舗となりました。ローソンは鳥取県と包括提携を結び、地産地消の推進などを進めており、同店でも地元産の野菜の販売を行っています。利用した町内の女性は、「地元で鮮魚を買うのが難しかったのでうれしい。自分も野菜を作っているのでも売ってみたい」と喜んでおられました。



新店舗になった南部会見店